

# 第6号 地域連携室だより

## 『センター長のつぶやき』

地域医療センター長 八木下 敏志行

巷間ではデング熱が話題です。熱帯地域の疾患が日本でみられるようになったのは、地球温暖化が一因かもしれませんが、予防ワクチンがなく、解熱鎮痛剤が使いにくいなどやっかいです。蚊に刺されないよう注意しましょう。デング熱の次はインフルエンザが出番を待っています。



## 『ご挨拶』 地域医療センター副センター長 竹内貴久代

6月から地域医療センター副センター長になりました竹内貴久代です。よろしくお願いたします。看護師です。昭和61年に君津中央病院に就職、その後大佐和分院に3年、君津中央病院附属看護学校に13年勤務し、今年6月から本院の地域医療センターに異動になりました。

6月から2ヶ月間退院支援カンファレンスに加わらせてもらって、高齢者2人暮らし、独居の高齢者、高齢の親と独身の子ども2人暮らしの世帯の多いことに驚き、高齢者の健康管理と介護予防、医療と福祉が連携したサービスの提供の重要性を切実に感じました。また、「できれば最後まで家で暮らしたい」と望まれるターミナル期の癌患者、「患者が望むなら最後まで家で生活させてあげたい」と思う家族の希望を叶えるためには、まだまだ訪問診療や訪問看護・介護を行う施設・人の不足や連携が不十分だと感じました。

また、いろいろな人たちが連携をはかろうと、動き出していることも知りました。しかし、他施設の看護職や介護職の方たちの「君津中央病院に連絡を取ろうと思ってもどこが窓口かわからない、病院は敷居が高い」という声も耳にします。地域医療センターは君津中央病院の地域への窓口になっています。地域連携室、訪問看護室、医療福祉相談室の3部門に分かれていて、業務を分担していますが、どの部署に連絡していただいても大丈夫です。「敷居が高い」などと言わず、気軽にご連絡ください。

少ない施設・人でより良いサービスを提供するためには、連携をはかることと、質を高めることが必要だと思います。質を高めるための研修会なども、遠くまで出かけるのは大変なので、この地域で開催し、仕事帰りに参加できるようにするといいいと思います。そんな研修の依頼も受けております。

みんなで協力して、高齢になっても安心して住み慣れた場所で生活できる地域作りのために、この地域の保健・医療・福祉サービスの向上を図れると良いと思います。

早く皆さんと顔見知りになり、地域医療センター副センター長としての役割を果たせるように努力していきますので、よろしくお願いたします。

## 『第36回上総がんフォーラム』の開催について テーマ：膵がん

日時：12月1日（月）18：30～20：00 場所：君津中央病院 4階講堂

東京歯科大学市川総合病院 副院長 松井 淳一先生による特別講演を予定しております。地域の医療従事者・介護職・福祉職・事務担当者の皆様、是非多数ご参加下さい。

さる9月5日（金）4階講堂において『食道がん』をテーマに第35回上総がんフォーラムを開催いたしました。地域の医療機関の先生方にはご参加いただきありがとうございました。

## 変更 地域医療支援病院の承認要件見直しについて

「医療法の一部を改正する法律の一部の施行について」が改正され、医療法第4条第1項に定める地域医療支援病院について、承認要件の見直し等の改正が行われました。今回の改正については、紹介率の基準が厳しくなったことで、今以上に、地域の先生方にご紹介をお願いすることになりますので、ご協力の程よろしくお願いたします。

### 『旧基準』

紹介率（地域医療機関からの紹介）60%以上・逆紹介率（当院から地域医療機関へ）30%以上

### 『新基準』

紹介率（地域医療機関からの紹介）65%以上・逆紹介率（当院から地域医療機関へ）40%以上